

地域環境ジュニアパトロール活動
メンバーからの報告

メンバーの名	学 校 名	学 年
橋本 博志	黒川市安原小学校	6年
中山 理恵	黒川市安原小学校	6年
加畑 裕美子	黒川市安原小学校	5年

1 9 9 7

地域環境ジュニアパトロール

活動報告書

グループ名	安居小生き物委員会
-------	-----------

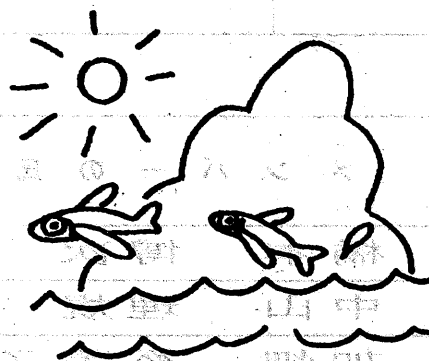
テーマ	み さら げ 未更毛川リバーウォッチング
-----	-------------------------

メンバーの氏名	学 校 名	学 年
橋本 博次	福井市安居小学校	6年
中山 理規	福井市安居小学校	6年
加畑 裕美子	福井市安居小学校	5年
野村 拓矢	福井市安居小学校	5年
飛田 はるか	福井市安居小学校	5年
宮前 愛	福井市安居小学校	6年
酒井 恵理	福井市安居小学校	6年
平本 一真	福井市安居小学校	6年
山本 俊一	福井市安居小学校	5年
川 寫 明日香	福井市安居小学校	5年
稲葉 修三	福井市安居小学校	4年
山本 育弥	福井市安居小学校	4年
酒井 司	福井市安居小学校	4年
佐々木 麻理	福井市安居小学校	4年
久保 壮史	福井市安居小学校	4年
藤井 美希	福井市安居小学校	4年

指導者氏名	田中 範継	教職員
-------	-------	-----

1. テーマを選んだ理由

安居小学校生き物委員会として学校の中だけでなく、地域の環境も見つめてみたいと思いました。地域の身近な環境を考えると、安居地区の中心を流れる「未更毛川（みさらげがわ）」は見のがすことができません。そこで、わたしたちのグループはこの川を見て歩くことにしました。題して「未更毛川リバーウォッチング」。川の周辺のいろいろなものを見て、環境について考えたいと思いました。



2. 活動の記録

(1) 活動日と主な内容

6月	活動内容決定
7月15日	活動計画立案
28日	第1回ウォッチング(学校より下流方向、日野川合流点まで)
8月13日	雨のため、1回目のまとめと2回目の打ち合せ
26日	第2回ウォッチング(学校より上流方向、末町まで)
9月3日	1, 2回のまとめ

(2) 活動内容

未更毛川(みさらげがわ)リバーウォッチング(散策と観察)

「生き物」「水の様子」「ゴミ」の3つのウォッチングテーマ別にグループに分かれて、川沿いを散策していった。

川沿いの様子	生き物の様子	ゴミの様子	水の様子
--------	--------	-------	------

末更毛川の動物地図

く生き物観察グループ

私たちは、安居小学校の生き物委員会であるので、動植物のことがどうしても気になる。そこで、川辺の昆虫類や鳥類を探すことと、植物の様子を観察することを中心テーマにした。

上流

シラサギ カエル
ツバメ ハビ
カモ サワガニ(死)
ギセキレイ オニヤンマ
シオカラトンボ コオロギ
アメンボ クモ
カタツムリ アゲハチョウ

下流

シラサギ ウグイ
ゴイサギ コイ
カモ バッタ
ツバメ モンシロチョウ
ハト トンボ
セキレイ アメンボ
カワセミ ヘビ

今年はいつもの年に比べて、いろいろなる鳥が安居の川辺や田に集まってきたようだ。1回目の時は安居ではめずらしいカワセミが川の上を飛んでいて、びっくりした。鳥類が多いことは、えさになる虫や魚が多いということだ。それだけ、安居地区が自然が豊かで水がきれいだということでもある。

未更毛川の水の様子地図

く水の様子調査グループ

未更毛川の水はきれいなのだろうか。わたしたちの住んでいる地区の川だから、とても気になった。そこで、「色」、「におい」、「油」、「あわだち」「とう視度」、「水温」、「気温」を調べることにした。

色：とう明
におい：なし
油：なし
あわだち：すぐ消えた
とう視度：◎
水温：23℃
気温：27℃

色：とう明
におい：なし
油：なし
あわだち：すぐ消えた
とう視度：◎
水温：26℃
気温：28℃

色：とう明
におい：かなりくさい
油：なし
あわだち：すぐ消えた
とう視度：◎
水温：26℃
気温：32℃

色：とう明
におい：なし
油：なし
あわだち：小さなあわ
とう視度：◎
水温：22℃
気温：28℃

色：とう明
におい：少し油のにおい
油：少しあり
あわだち：すぐ消える
とう視度：◎
水温：23℃
気温：29℃

この調査では、全体的には、きれいな水が流れているようだったが、場所によっては、油がういているのが見えたり、あわがたくさんういている場所があったりして、部分的によごれている所があるようだった。

未更毛川のゴミの分布図

＜ゴミ調査グループ＞

去年、2年生のグループが調べた道路沿いのゴミは、とても多かったのだ、川の中はどうなのだろうと、とても気になった。そこで、私たちのグループは未更毛川の中にあるゴミについて調べた。どんなゴミが落ちているか調べるとともに、拾うことのできるものは、できるだけ拾い上げて川をきれいにした。

上流

空き缶 14
紙類 12
たばこ 7
ペットボトル 5
その他 空きビン
ものかけ、自転車など

下流

空き缶 20
ビニール袋 19
発泡スチロール 12
紙類 10
その他 容器、トレイ
ペットボトル、ロッカー
自転車、生ゴミなど

川の中には、いろいろなゴミがあった。空き缶にヒルがついていたので、拾うのが大変だったり、中にあった自転車をみんなで上まで持ち上げたりした。

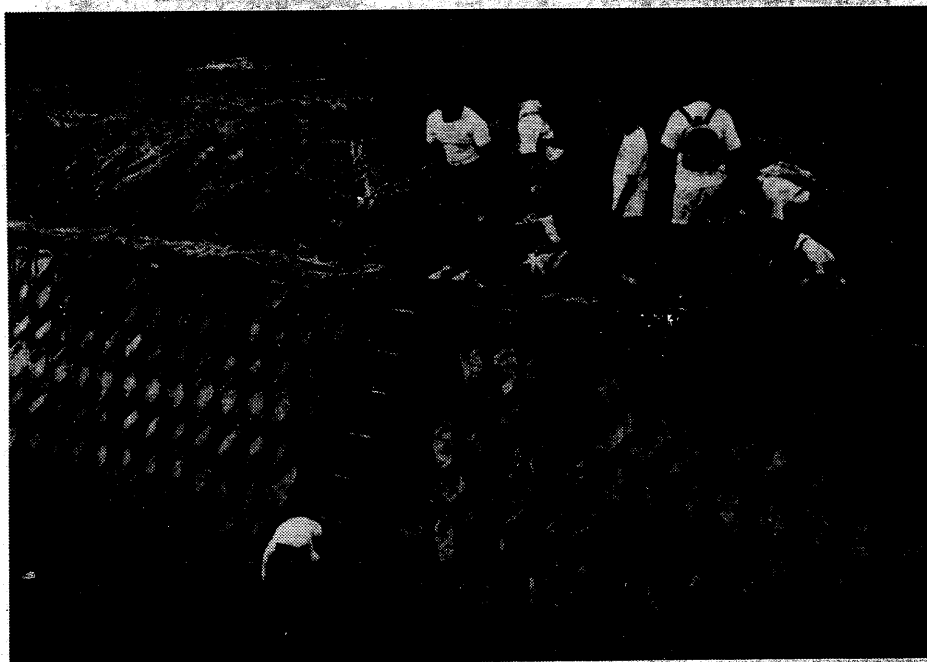
「水の調査」

水温を計っています。



「ゴミの調査」

下までおりて、
草の中のゴミを拾い
ました。



川の中も歩いて
調べました。



3. メンバーの感想

橋本博次

とても天気がいい夏休みに、パトロールをしました。歩く場所が、草の多い川沿いでした。川は、初めゴミが多かったけれど、だんだん自然の多い川になって、ゴミが少なくなってきました。パトロールが終わって、思っていたより、ゴミ拾いがたいへんでした。

中山理規

下流へ行ったときは、ものすごくたくさんのゴミがあり、予想のつかないようなロッカーやはしごなども捨ててありました。それに比べて上流は、もがみように多くあり、下流に比べて足場も悪く、天気がいいことだけがせめてものすくいでした。しかし、下流と違って、木が多く、水がすんでいて、ゴミもそんなにおおくなかったです。

野村拓矢

1日目に晴れて下流の方に行った。川の中にロッカーが落ちていた。3回目に上流に行って調べたら、水がきれいだった。草も多くてすごかった。上流にはゴミがほとんどなかったから、よかった。

加畑裕美子

私は、活動をして、川にもたくさんのゴミが捨ててあることが分かりました。でも、水は、とうめいできれいでした。魚も泳いでいたので、私は、不思議に思いました。住宅地の前の川はゴミがなくて、もがからまっているみたいでした。下流は川がきれいにならしてあったけれど、上流の更毛入り口の川は、石がゴツゴツあって、はばもせまかったです。でも、さらに上流に行くと、ほそうされていました。

私は、このジュニアパトロールの活動をして、上流や下流の違いや、ゴミの数の違いが分かりました。やっぱり上流のゴミが下流に流れていくのではないかと思います。今度する機会があったら、山のごみを調べてみたいです。

飛田はるか

私は、パトロールをして、とてもつかれました。でも、地いきのことがよく分かりました。ゴミも、空き缶や自転車などがありました。川には、大きな物があつたけれど、小さい物はあまりなかった。と中、鳥などがいました。草がものすごくたくさん生えている所も歩きました。サワガニが死んでいたり、水のにおいがくさい所があつて、そこにはもう行きたくないです。

山本俊一

未更毛川は、きたないなあと思いました。川の中は、とても、草があるなあと思いました。

宮前 愛

ビデオを見て、川がきたないことがよく分かりました。安居の川はきれいだと思っていたのに、油がういていたり、ゴミが落ちていたり、きたないと思いました。

でも、上の方に行くと、きれいになっているように感じました。それに、鳥などの動物や虫がいたから、まだきれいな方なんだと思いました。自分の目で確かめたかったです。

稲葉修三

初めの方は草でいっぱいでした。草があつても川はきれいだつたのでよかったです。魚の死がいがありました。ヒルもありました。油がういていた。だれがやったのだろうと思った。魚の群れがいた。魚がいたからきれいだと思った。でかいゴミがあつた。川をわたった。冷たかった。はばがせまくなつていった。2日目は、川は

きれいだった。ゴミはなかったようだ。上流にいくほどあれていた。石もいっぱいあった。上流もだんだんせまくなっていった。ぼくは、思ったよりあれていたし、思ったよりきれいだった。

酒井恵理

未更毛川の上流と下流でもだいぶ様子が違った。

上流の方は、見ていてもきれいで、中に入ってもゴミがなかった。また、いろんな、虫や鳥、植物をみることができた。下流の方は、ゴミ、油などが水の中にあったりういていたりしてきたなかった。でも、鳥は上流より多かったような気がする。

山本育弥

中の方は、缶やゴミがあつてきたなかったけど、下の方は、魚が住めるほどきれいだったので、びっくりした。

酒井 司

ちょっとおもしろかった。2回目は雨だったから、車で3回目に行く場所を見にいった。3回目はすごく暑かった。

佐々木麻理

1回目は、川にゴミがいっぱいあった。大きいゴミもあった。川の中に入って冷たそうだった。生き物はいっぱい飛んでいた。鳥がいっぱいいた。ヘビまでいた。

久保壮史

川はそんなにきたなくないし魚の大群もいました。でも草が多いしゴミもいっぱいありました。1日目は日野川の合流点まで行きました。2日目に心に残ったことは、道がなくて最後に川に入ったことです。初めはびっくりしましたが、入ってみたらとてもおもしろかったです。

川島明日香

私は、ビデオで、川のよごれや温度を調べている様子を見ました。鳥やヘビなどの生き物がいろいろいました。たいへんそうですが、1度やってみたいです。

藤井美希

川には、ゴミがいっぱいあって、きたなかった。油が川にまでういているとは思いませんでした。つごうで1回も行けなかったので行ってみたいです。

いっぱいよごれていたようなので、きれいにしたいと思います。桜ヶ丘の近くはきれいだったからうれしかったです。自転車も捨ててあつたのにはびっくりしました。

平本一真

桜ヶ丘の川はきたないと思っていたけど、決行きれいだったそうだから、おどろいた。

4. 指導者の感想

子どもたちが住んでいるところを流れている川であるが、その川岸を歩くことは少ない。今回の活動は、このような子どもたちにとって貴重な体験だったのではないだろうか。これから地球規模、宇宙規模の環境問題を考えるとき、今回の地域での体験が結び付いていくことが大切だと考える。さらに、それぞれの家庭に波及していくことは、個々から全体に広がる環境問題への取り組みになると思うのである。

5. その他

今回の活動にご協力いただいた地域の方々や学校の先生方、ありがとうございました。



7月29日(火)、8月1日(金) 12時~15時

